

最新の低温エンドキシン不活化方法とは？
現状のエンドキシン測定の際のリスク課題についても解説！

1名分料金で
2人目無料

エンドキシン対策としてのバイオバーデン管理 およびエンドトキシン不活化方法【LIVE配信】

- ◆日時：2025年8月27日（木）13:00～15:30
- ◆会場：自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆受講料：1名につき44,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**36,300円（税込）**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で44,000円（税込））**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

☆講師

価値創造&バリデーション支援センター 代表 山瀬 豊 氏

☆趣旨

毒性パiroジェン(エンドキシン)対策が必要となる製品もある。今回はエンドキシン対策としての無菌性保証のためのバイオバーデン管理要求やバイオバーデン測定時のバリデーションからエンドキシンの不活化技術、最新の低温エンドキシン不活化技術、現状のエンドキシン測定の際のリスク課題などを紹介する。

☆プログラム

1.滅菌、無菌製品のバイオバーデン(汚染菌)の管理要求

- ・滅菌と無菌性の保証の基礎
- ・滅菌定義、無菌性保証水準SAL10⁻⁶と滅菌バリデーションの必要性
- ・無菌性保証のためのバイオバーデン管理の必要性
(日本薬局方、滅菌バリデーション基準)

2.バイオバーデン測定と微生物試験のバリデーション

- ・バイオバーデンとは
- ・微生物試験のバリデーション(培地性能試験、回収率試験等)
- ・微生物の殺菌法に対する抵抗性D値
- ・バイオバーデン管理に関する査察、審査
(アラートレベル、アクションレベル管理)

3. エンドキシンとその対策

- ・エンドトキシンとは

- ・滅菌だけでなく菌の死骸の毒性パiroジェン(エンドキシン)の対策の重要性
- ・一般的なエンドキシンの不活化技術
- ・放射線照射滅菌でエンドキシン不活化は可能か？
- ・エンドキシン対策としてのバイオバーデンの管理の重要性

4.革新的、低温エンドキシン不活化装置の概要

- ・最新の不活化技術の概要と効果
- ・長所と短所

5.エンドトキシン測定時の課題、リスク

- ・製品からの洗い出しに回収率の課題(製品への吸着等)
- ・エンドキシンプリー製品の留意点

6. その他

- ・エンドキシン不活化の関するヒューマンサイエンス研究他
- ・エンドキシンプリーと称する製品類について

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら (https://zoom.us/download#client_4meeting) からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
- 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら (<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。
- 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催前日までに送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『エンドトキシン測定』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、弊社へFAXでお申込み下さい。
弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>